

## Sakaiと連携するOCWの現状と課題

福原 美三

[y-fuku@dmc.keio.ac.jp](mailto:y-fuku@dmc.keio.ac.jp)

慶應義塾大学 DMC機構 教授  
日本オープンコースウェア・コンソーシアム 代表幹事



## オープンコースウェア(OCW)とは？

- MIT(米国、Massachusetts Institute of Technology)が2001年に開始した、「大学の正規に提供された講義情報のインターネットでの無償公開」

The screenshot shows the MIT OpenCourseWare website. The main heading is "Unlocking Knowledge, Empowering Minds." Below it, a quote from Susan Hockfield, President of MIT, is displayed: "OCW expresses in an immediate and far-reaching way MIT's goal of advancing education around the world." To the right, there is a "DONATE NOW" button. The footer contains copyright information for MIT (© 2002-2007 MIT) and OCW (© 2007 MIT).



# オープンコースウェア(OCW)とは？



## MIT OpenCourseWare

OCW is a free publication of course materials used at MIT.

- Get lecture notes, problem sets, labs and more.
- Watch lecture videos and demonstrations.
- Study a wide variety of subjects.

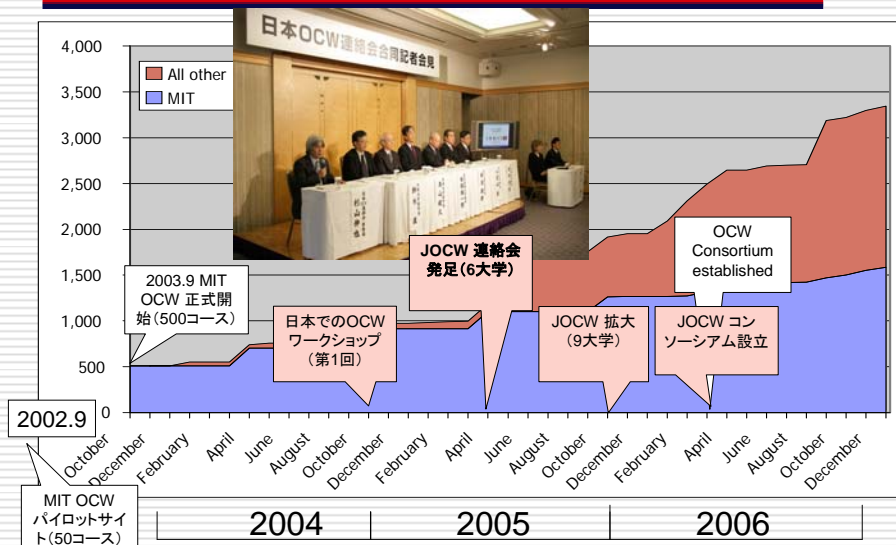
Take a tour    Read more about our history    FAQs

## OCW is *not* an MIT education.

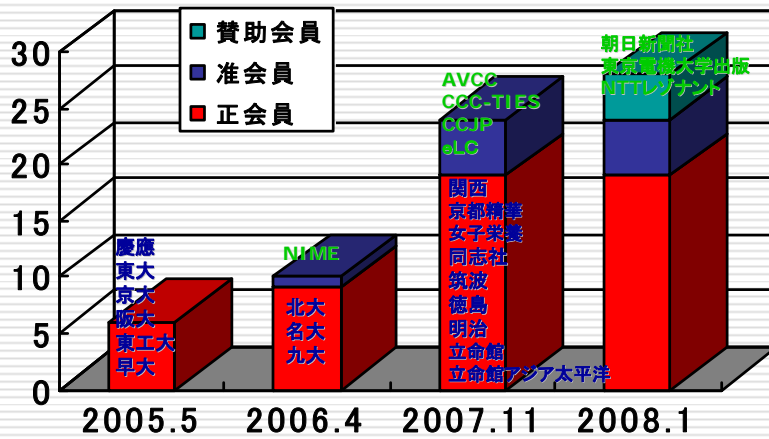
- OCW does not grant degrees or certificates.
- OCW does not provide access to MIT faculty.
- Materials may not reflect entire content of the course.



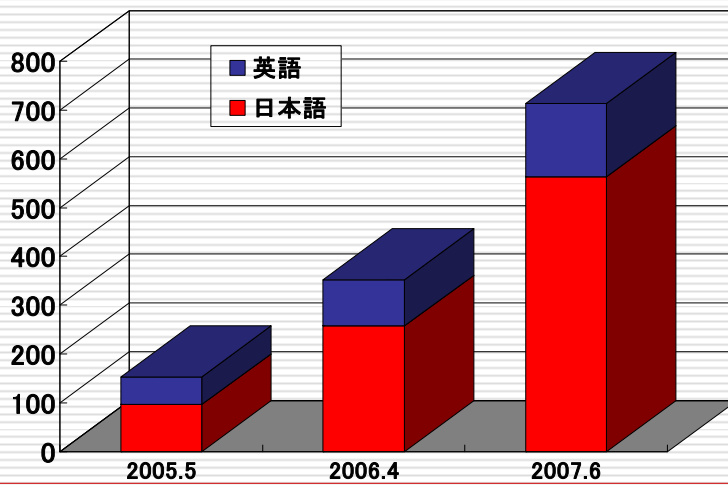
# OCWの歴史と公開コース数



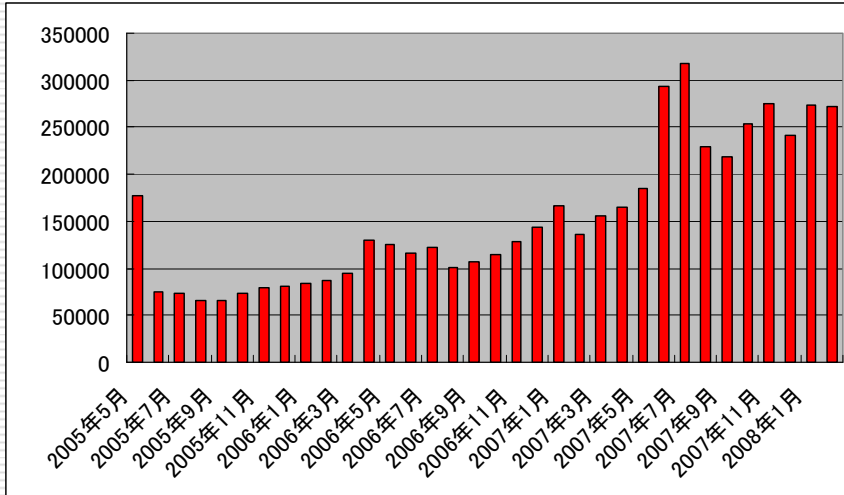
## JOCW会員数



## JOCW全公開コース数

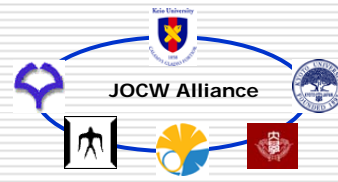


## JOCW全OCWサイトへの訪問者数推移

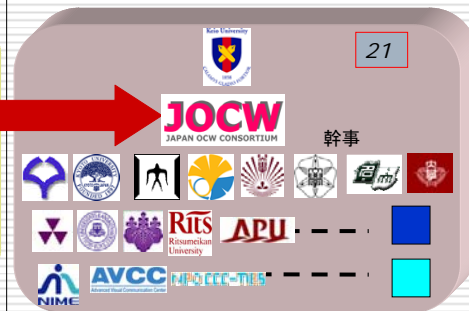


## OCW関連組織と連携

<-2006.4>



<2007->

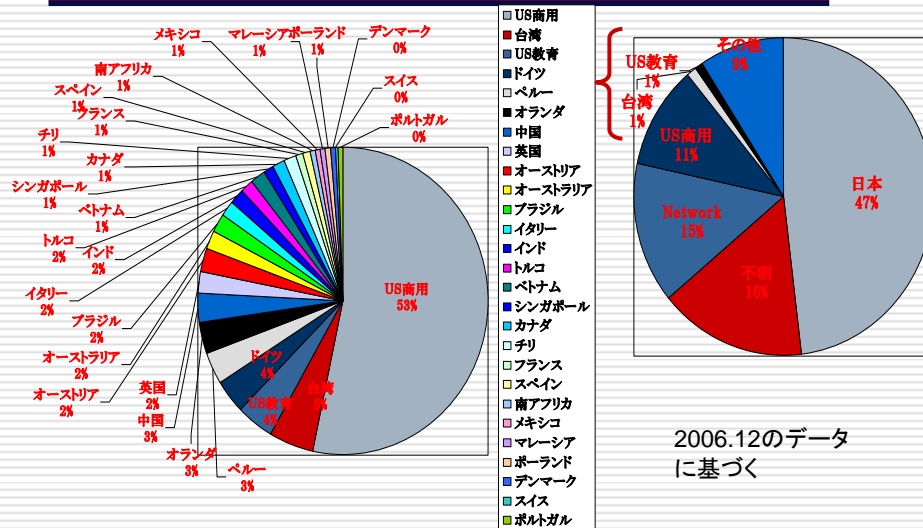


<国際>

<国内>



## JOCWへの訪問者の出自と割合



## JOCW会員種別

- 会則より
- 第5条 (会員の種類)
- 本会には正会員、准会員、賛助会員をおく。
- 正会員: 本会は学校教育法第5章で定められた大学等であって、本会の目的(第3条)に賛同し、機関全体の正式な意思決定手順を経てオープンコースウェアの活動を開始することを決定した機関を正会員とする。
- 准会員: オープンコースウェア活動の援助・普及に大きく関わる非営利機関であって、本会の目的(第3条)に賛同し、機関内の正式な意思決定の手順を経た機関を准会員とする
- 賛助会員: オープンコースウェア活動の援助・普及に大きく関わる機関であって、本会の目的(第3条)に賛同し、機関内の正式な意思決定の手順を経た機関を賛助会員とする。



## JOCW会員としての義務と権利

- **正会員**: 10コース以上のOCW提供
  - コース提供は英語に必ずしも拘らない
  - JOCWサイトからのリンクおよび各種機能・ノウハウの提供
- **賛助会員**: OCW活動の真摯なサポート
- **会費**
  - 正会員: 年額 2 万円 準会員: 年額 2 万円 賛助会員: 年額 5万円



## JOCW(世界)

- MIT
  - 2007.11: 当初の目標(全ての公開可能な講義: 1800公開)達成
  - 第2ステージ: 高校への知識提供、連携
- 国際コンソーシアム
  - 19カ国、130機関の参加
  - 規約整備、体制整備



## OCWの本質

- 原則として**非営利な教育目的**に限定し、**使用、コピー、配布、翻訳および変更**が自由
  - 新車購入を想定
  - 単なるシラバス公開は「パンスレットの配布」
  - OCWは試乗車の2日間モニター
- 「大学が大学という教育の場で提供すべきもの」と「世界に対して知の世紀に貢献できる役割」を再考する機会
- OCWはゴールではなく、オープンコンテンツ提供という**中間プロダクト**
- ここから様々な派生的サービス・利用が可能



## OCWの意義と効果

- 提供側(大学)にとっての意義
  1. 知識の世紀における大学の中長期的な社会的使命としての情報(知識)発信
  2. 教育のデジタル化推進の牽引役(教員の意識改革推進)
  3. 広報的価値(大学内容そのものの公開=正しい理解)
  4. 講義自体の質的な改善
- 受ける側にとっての意義
  1. 社会人に対する効率的・効果的な学習機会提供手段
  2. 受験生・留学希望者にとって、実際の講義内容の日常的な確認手段の提供
  3. 教育者にとって高価値・信頼性の高い教育素材の提供

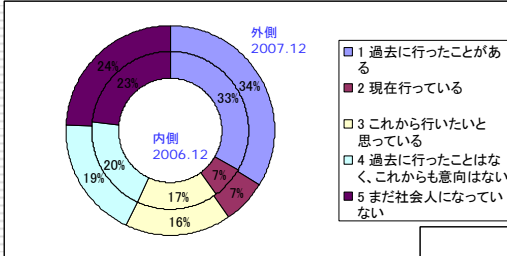


2008.3.26 第1回 Ja Sakai カンファレンス

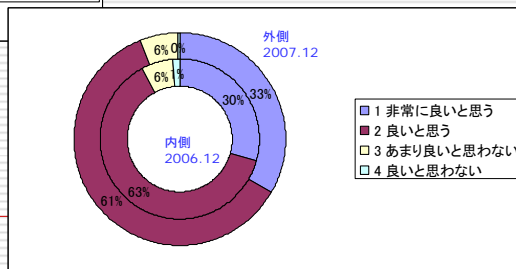
「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋)  
(実施時期:2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)



問2 あなたは、社会人になってから、研修や通信教育、スクール等で自ら進んで学習機会を得たことがありますか



問3 各大学で行われている講義内容をインターネット上で公開することについてどのように思いますか(単位や学位には関与せず、非営利的な目的を前提とします)

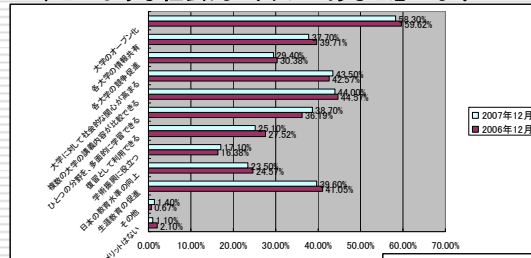


2008.3.26 第1回 Ja Sakai カンファレンス

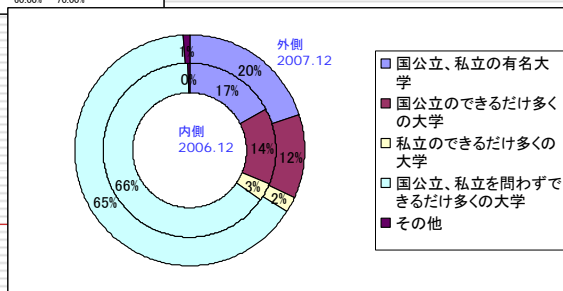
「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋)  
(実施時期:2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)



問4 各大学がそれぞれの講義内容を公開することに、どのような社会的メリットがあると思いますか



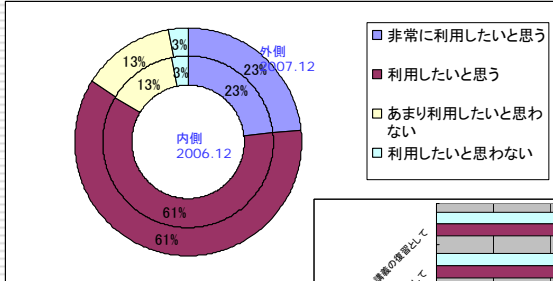
問5 講義内容を公開する大学は、どのような規模で必要と思いますか



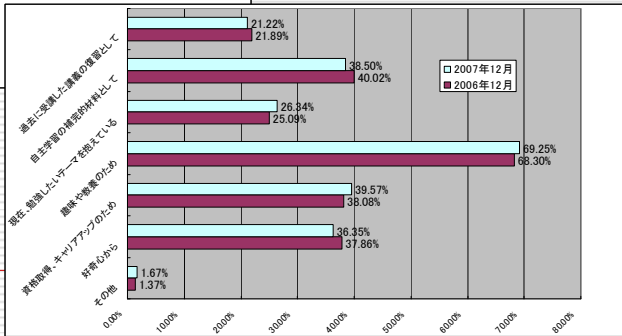


「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋)  
 (実施時期:2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)

問6 インターネット上で様々な大学の講義内容が見られるサイトがあった場合、あなたご自身は利用したいと思いますか

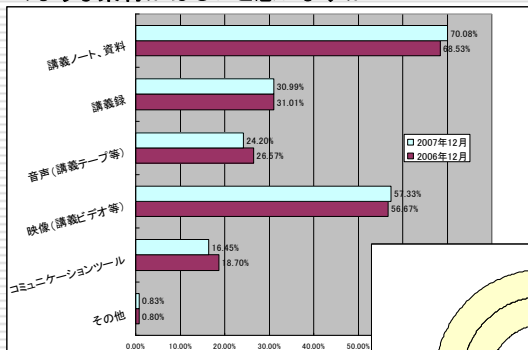


問7 どのような目的で、利用したいと思いますか

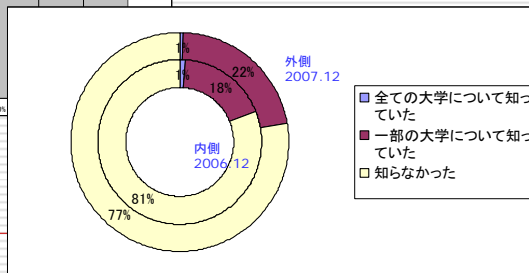


「大学のオープン化」インターネットリサーチ結果(抜粋)  
 (実施時期:2006.12, 2007.12 調査人数各1000人)

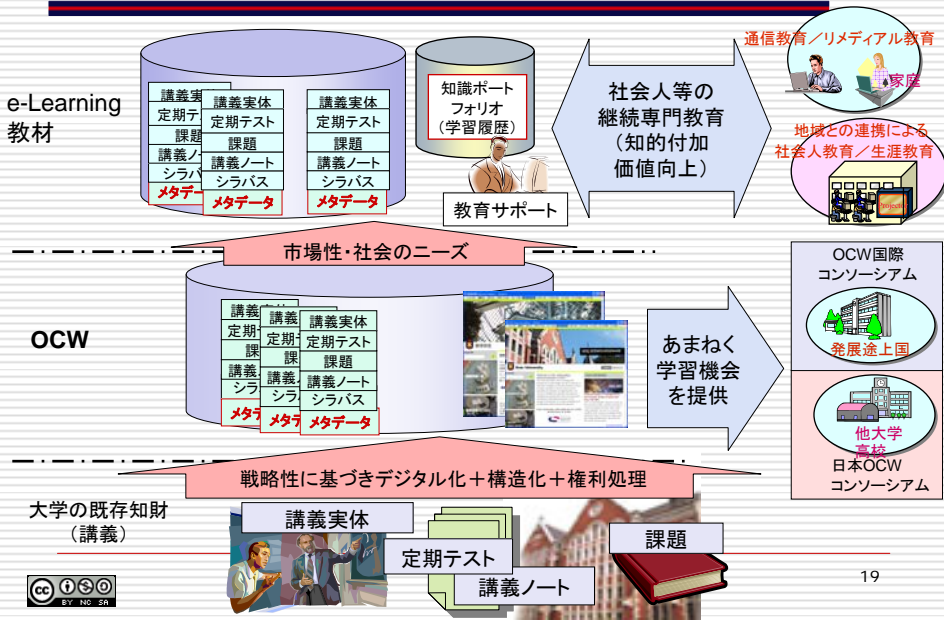
問12 インターネットで大学の講義を見る場合、どのような素材がほしいと思いますか



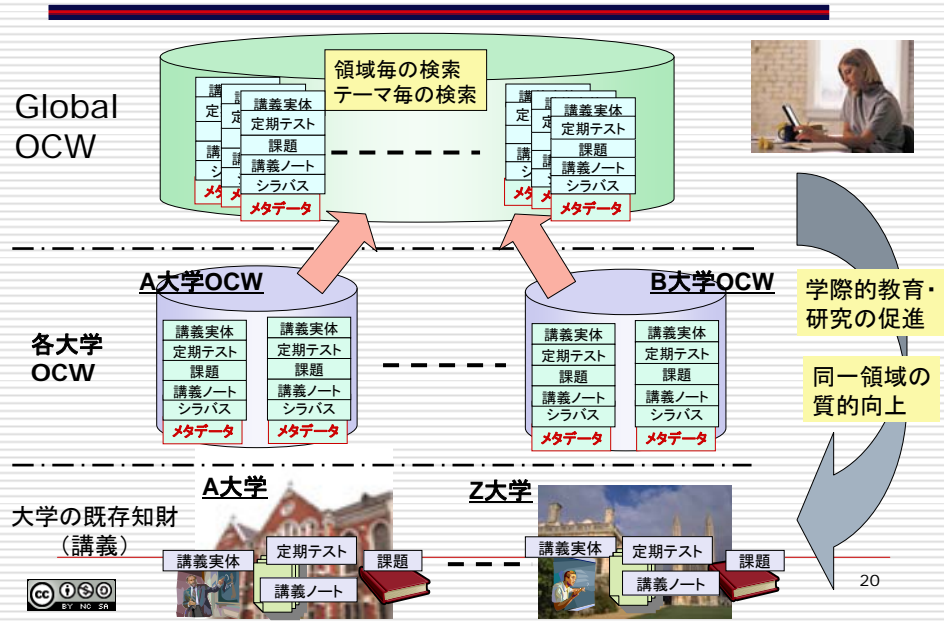
問15 以下の大学がネット上で講義を公開していることをご存知ですか



### OCWとe-Learningの連携(縦方向の付加価値)



### 組織的OCWの活用(横方向の付加価値)



# 国内OCWコース横断検索

□ ・JOCW会員大学(現在13->20)での講義の横断検索をコンソーシアムサイト(www.jocw.jp)で提供開始



# 国内OCWコース横断検索



## 課題

---

- 対内・外認知の拡大
- 財政的基盤確立
- 知的所有権処理の効率化
- コンテンツ作成・流通・管理基盤整備

